



ふじみ自然塾 だより

2020.9.23

第17-1号

発行；富士見市民大学
ふじみ自然塾
編集；同 企画運営スタッフ
発行日；不定期

1. ふじみ自然塾 開講

9月12日13:30から難波田城公園内の旧金子家において、第43期市民大学ふじみ自然塾を開講した。

当初は6月に開講の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言などがあり、今期の市民大学は9月開講となった。

ふじみ自然塾の第1回講座は、オリエンテーションと農業実習の計画であったが、雨天のため農業実習は翌週に順延することにした。

オリエンテーションでは、受講のしおりにもとづき実施し、講座持の注意事項や、コロナ対策のため施設の利用制限・雨天時等に伴う講座内容等の変更などについて説明した。さらに、実習農場と特別研修コースについて紹介した。また、受講の動機やこれから始まる講座に対する希望など、アンケートを記入いただいた。

農業実習を順延したことに伴い時間の余裕ができたので、受講のしおりの参考資料にもとづいて自然栽培や有機栽培、連作障害などについて要点のみ説明した。

2. 農業実習(大根の種まき&白菜苗の植付)

9月19日13:30~15:40 渋谷農園(南畑)と実習農場で、第1回講座で計画していた農業実習を行った。

まず、難波田城公園内の旧大澤家前に集合。渋谷先生から自己紹介、農園について概要説明をしていただいた。その後、受講生及びスタッフの自己紹介を行い、農場へ向かう。

農場では、先ず、先生から大根の種まき方法について説明と実演。その後、受講生で種まきを行う。マルチ穴の土を圧して、まき穴を作り、そこへ5粒の種を



写真①；自己紹介

雨が小降りになったので、実習農場を見学することに。室内は暗いので屋外に出たところで自己紹介を行い、実習農場へ向かう。

実習農場では、道路上から見学した。栽培中のキュウリ、ナス、オクラを収穫し受講生に分配、15:40に散会した。



写真②；大根の種まき

まき、先生のチェックを受けてから、土を被せ軽く鎮圧した。大根約80本分の種まきを行った。

大根種まき終了後、実習農場へ移動し、渋谷農園で育苗した白菜苗の植付を行う。大根種まきと同様に、先生から白菜苗の植付方法について説明と実演。その後、受講生が苗を1株ずつ受取り丁寧に扱いつつ、計14株を植付けた。鎮圧すると根を傷めるとのこと、株周りに水やり土をなじませ、土の沈降箇所には土を補充しつつタツプリと水やりをした。

最後に、一人ずつ感想や今後の希望などを述べあい、散会した。



写真③；白菜の植付